

田浦地域の教育環境整備の検討について

案	協議会委員の意見等	事務局の見解
<b>案 1</b> (事務局提案) 田浦小学校区を長浦小学校区へ編入する。	<b>【通学や通学路について】</b> ○田浦小学校と長浦小学校が統合した場合の通学距離が最長で約3 k mとのことですが、低学年が心配です。 ○自転車や自動車等の交通量が多い国道を通らなければならないため、安全対策をどのように行うかが課題になると思います。 ○トンネルの歩道が狭く、自転車などが走っている中で、安全面に不安があります。 ○学校が遠くなることで、障害のある子どもが自力で登校できなくなることも考慮しなければいけないと思います。 ○バス通学が自費負担となると、田浦地域に住むという選択肢が取られなくなり、地域の存続にも関わります。小学生を対象に公共交通機関を無料とする施策を講じてもらえれば、人口増加につながると思います。	<b>【通学や通学路について】</b> ○通学上、危険があるのであれば対応が必要であると考えています。  <b>【学校規模について】</b> ○人間関係や教育の内容から一定の規模は必要であると考えています。  <b>【方策の検討について】</b> ○さまざまなケースを想定して、懸案事項や対応策などについてご意見をいただき、検討をしていきたいと考えています。  <b>【地域について】</b> ○地域の文化圏や活動圏があると思いますので、ご意見を伺いながら検討をしていきます。  <b>【跡地利用について】</b> ○全庁的に検討をしなければいけない案件ですので、ご意見を伺いながら検討をしていくことになります。
<b>案 1 (参考)</b> (事務局提案) 港が丘1丁目を除く田浦小学校区を長浦小学校区に編入し、港が丘1丁目を船越小学校に編入する。	<b>【学校規模について】</b> ○田浦地域の小学校の現状において、他の地区と一緒にすることで、子どもたちの集団での学びに繋がると思います。 ○両地域には児童が少ないですが、クラスにある程度の人数がいることは、子どもの学びや成長に必要なことだと思います。  <b>【方策の検討について】</b> ○田浦小学校と長浦小学校を単に合わせるだけではなく、全ての近隣地域を巻き込んだ計画を進めていければいいと思います。 ○小学校の統合は、基本的には反対です。  <b>【地域について】</b> ○可能であれば、港が丘地域は田浦連合町内会に属したままにしてほしいと思います。 ○通学区域の検討に当たっては、各地域の歴史など地域の実情を踏まえていただく必要があると思います。  <b>【跡地利用について】</b> ○田浦小学校を廃止するのであれば、跡地の活用として、現在、田浦地域にはないコミュニティセンターや集会スペースなどを新設していただきたいです。また、広域避難場所としての利用の継続についても望みます。	
<b>案 2</b> (委員意見) 長浦小学校に中学校を併設する。 また田浦中学校に小学校を併設する。	○子どもたちの気持ちが前向きになるような形が良いと思います。例えば、長浦小学校の場所と田浦中学校の場所に小中一貫校ができれば、子どもたちも新しい教育環境で気持ちが前向きになると思います。 ○小中一貫の教育に関して言えば、小学校高学年の専科制が積極的に進められている中なので、非常に魅力的な学校スタイルだと思います。 ○長浦・田浦の小中学校併設校のシミュレーションに関しては、長浦には無理に中学校を作らず、逆に小学校の児童数を学区編成の部分でしっかりさせるようにしていけば、必ずしも両方同時に併設校を作る必要はないと思います。	○併設型の小中学校を建てるのは1つの形であると考えられますが、長浦小学校の敷地については、運動場面積の基準を満たさないため難しいです。田浦中学校の敷地については、敷地の形状から実現には工夫が必要です。
<b>案 3</b> (委員意見) 田浦小学校を現地で建て替える。	○狭小ながらもわくわくするような小学校づくりを提案できれば面白いと思います。 ○田浦小学校については、少子化という状況なので、老朽化した部分だけを取り壊せば教室は足りるのではないですか。 ○田浦地域の児童数の減少に伴う教育環境整備の話であるため、その場での学校の建て替えは、児童数の減少の解消にはつながらないと思います。	○田浦小学校の敷地が狭いため、運動場の面積や形状が確保できないなど、同一敷地での建て替えは困難であると考えています。